

■用途

戸建住宅の2階・3階部分の一部給水器具への補助加圧

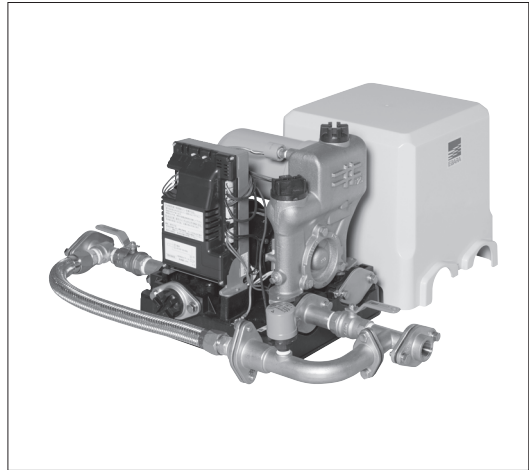
■特長

①省エネルギー・静かな運転音

永久磁石形同期電動機及びポンプコントローラ（インバータ＋給水制御）の組合せにより、業界最高水準の省エネルギーと低騒音化を実現しました。

②高い信頼性の安心設計

ユニットカバーは『万一』に備え難燃材を採用しました。



設置場所	屋内・屋外 ※1
取扱液	清水 0～40℃ ※2（本装置は水道法による「給水装置の浸出性能基準」に適合します）
吸込圧力	0.45MPa以下（30kPa以下で自動停止、60kPa以上で自動復帰）
ポンプ	形式 軸封 軸受 渦流ポンプ メカニカルシール 密封玉軸受
主要構成材料	ケーシング ケーシングカバー 羽根車 主軸 ユニットベース 連結管 ボールバルブ バイパス管類 フレキシブルメタルホース 鉛フリー銅合金 鉛フリー銅合金 鉛フリー銅合金 ステンレス（接液部） 合成樹脂 鉛フリー銅合金 銅合金（接液部） ステンレス ステンレス/銅合金
電動機	永久磁石形同期電動機
制御盤	制御方式 表示/スイッチ インバータによる圧力一定制御 電源/異常表示灯、運転一停止
電源 ※3	単相・100V（50/60Hz） 三相・200V（50Hz）、200/220V（60Hz）
圧力タンク	ダイヤフラムタンク（1L）

※1 周囲温度－5～40℃、相対湿度85%以下で結露なきこと、標高1000m以下、腐食性及び爆発性ガス・蒸気がないこと。ただし、高温連続の使用では、コンデンサの寿命が短くなる場合があります。

※2 清水とは、水道水、工業用水、井戸水で、pH5.8～8.6、塩素イオン濃度200mg/L以下、遊離残留塩素濃度1mg/L以下のものを意味します。

※3 電圧変動：±5%以内、周波数変動：±2%以内、電圧、周波数の同時変動：双方絶対値の和が5%以内
ただし、いずれの場合も電動機の特性、温度上昇などは定格値に準じません。また、相間電圧の不均衡は2%以内です。

③浸出性能基準適合品

飲料水供給に適した、より高い安全性を確保しました。

④外部出力対応（オプション対応）

運転、故障信号の外部出力に対応するオプションボックスを、特別付属品にラインナップしました。

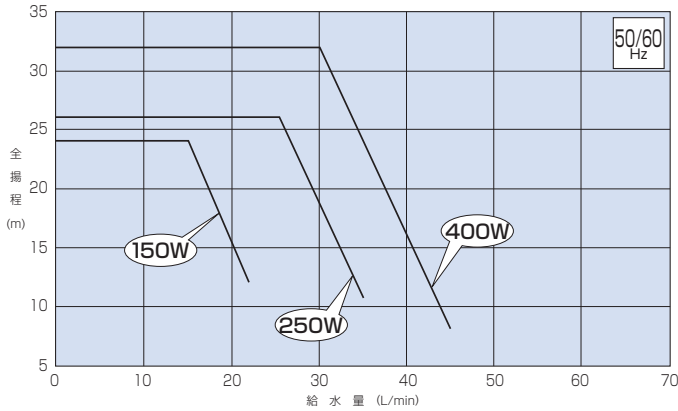
⑤（公社）日本水道協会認証

家庭用

■機名説明

20	HPED	0	.15	S
①	②	③	④	⑤
①口径(mm)		②機種記号(型式)		
③周波数(0：インバータ駆動)		④出力(kW)		
⑤相(S：単相)				

■選定図



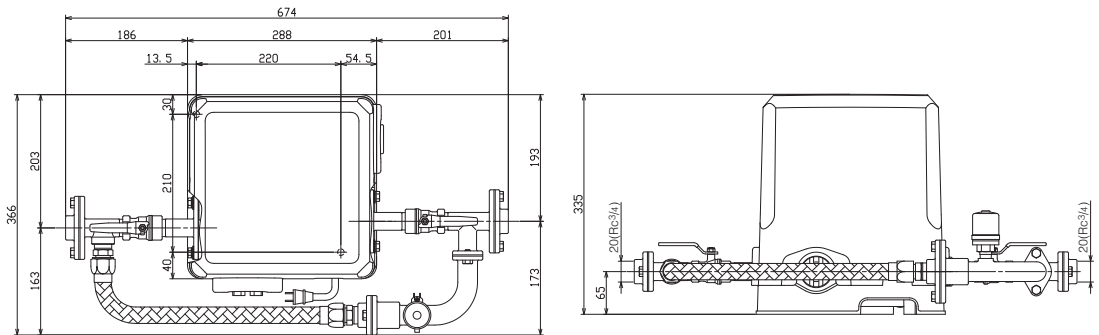
設置にあたっては、事前に所轄の水道事業体に設置の可否を確認し、指示に従い施工してください。

■仕様表

機名	電源 V	電動機 呼び出力 W	消費 電力 W	定格 電流 A	許容 押込 高さ m	最大 吸上 高さ m	要目		始動 圧力 m	設定圧力 m	停止 水量 L/min	口径		質量 kg
							給水量 L/min	全揚程 m				吸込 フランジ (mm)	吐出し フランジ (mm)	
20HPED0.15S	単相100	150	245	3.8	許容 吸込 圧力 0.45 MPa	—	15	24	26	29	1.5	Rc ^{3/4} (20)	Rc ^{3/4} (20)	21
20HPED0.25S		250	390	5.6			25.5	26	28	31				21.5
20HPED0.4S		400	595	8.3			30	32	34	37				22
20HPED0.4	三相200		565	2.2										21.5

■外形寸法図 (全機種共通)

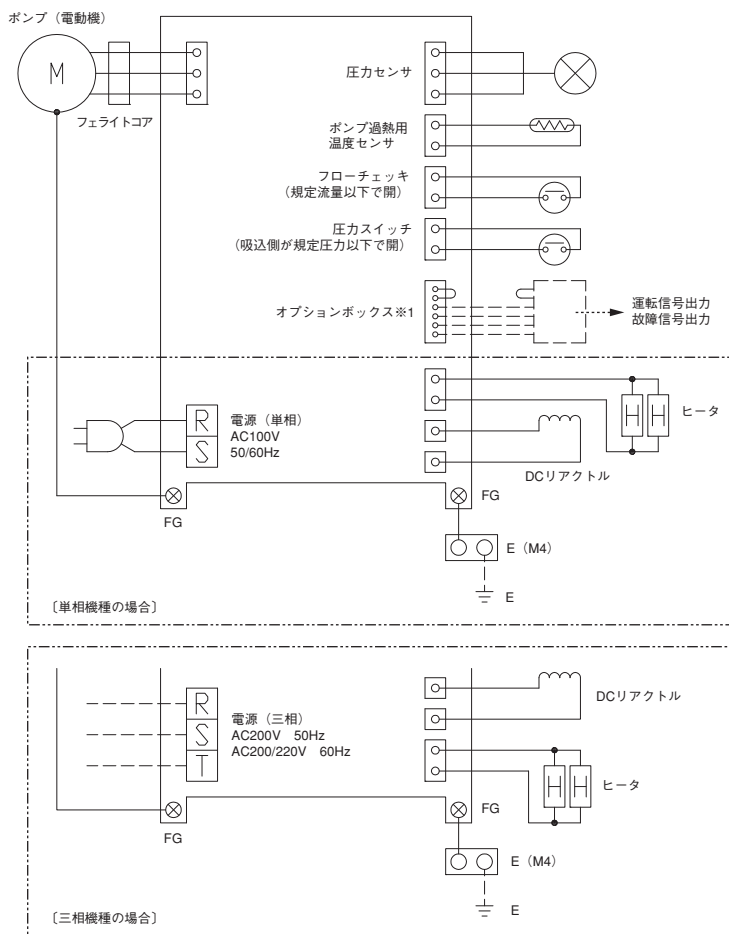
単位：mm



■機器内訳

- ポンプ ●制御盤 ●圧力センサ ●フローチェッキ ●凍結防止ヒータ ●圧力タンク ●ユニットベース
- ユニットカバー ●相フランジ ●圧力スイッチ ●バイパス配管 ●逆止弁 ●ボールバルブ

■結線図



※1 外部出力接点付 (オプション) の場合、オプションボックスが接続されます

■特別附属品 (オプション)

●オプションボックス (外部信号出力用)

型 式	適 用
OP-BOX	全機種共通

家庭用

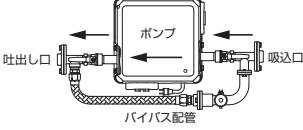
■補助加圧装置の運転、メンテナンスが容易

【補助加圧装置の運転】

水栓を開き、給水を開始したとき。

①吐出し側の圧力が、設定圧力未満の場合

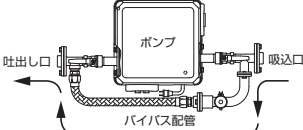
- ポンプ運転により加圧



2階・3階での給水量が大きく吐出し圧力が低い場合

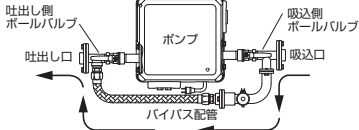
②吐出し側の圧力が、設定圧力以上の場合

- ポンプの運転は停止し、バイパス配管から水道本管圧力で給水



【メンテナンスが容易】

断水せずにポンプのメンテナンス可能。



- 吸込側、吐出し側にあるボールバルブを閉じることで、水はバイパス管を通過、断水しらず。

■据付け時の注意

1. 給水補助加圧装置としての使用は、戸建て住宅（2階・3階建て）に限定されており、2階・3階に設置の一部給水器具（シャワー・トイレ・水栓）への補助的な加圧に用います。集合住宅の一住戸への使用、戸建て住宅の全給水器具への使用はできません。
2. 設置にあたっては、事前に、所轄の水道事業体に設置の可否を確認し、指示に従い施工してください。
3. 給水補助加圧装置設置位置での入口圧力は、0.45MPa以下としてください。0.45MPaを超えると機器部品に支障をきたす恐れがあります。
4. 給水補助加圧装置設置位置での入口水圧（必要水量を給水したときの水圧）が、30kPa以上であることをご確認ください。30kPaより下がる場合は、保護動作により自動停止しますので、設置位置の変更・受水槽方式への変更などの検討が必要です。
5. 設置にあたっては、口径20A以上の量水器の設置が必要となります。既存の建物に設置する場合には、ご計画前に量水器が20A以上であることをご確認ください。